

第七十四回帝國議會
衆議院

宗教團體法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
宗教團體法案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十四年二月二十七日(月曜日)午前十時
二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 安藤 正純君

理事北 吟吉君 理事長井 源君

理事世耕 弘一君 理事立川 平君

鶴見 祐輔君 大島 寅吉君

林 平馬君 紫安新九郎君

藤田 若水君 作田高太郎君

末松偕一郎君 石坂 養平君

松岡 俊三君 加藤 知正君

高見 之通君 會和 義弼君

松山常次郎君 河上 哲太君

赤松 克麿君 中野 寅吉君

杉山元治郎君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省宗教局長 松尾 長造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

宗教團體法案(政府提出、貴族院送付)

○安藤委員長 ソレデハ開會致シマス、私

委員長ニ互選ヲ願フコトニ致シマス

屆デアリマスシ、能ク慣レテ居リマセヌカ
ラドウゾ宜シク御願致シマス——ソレデハ
是カラ宗教團體法案ニ付キマシテ、初メニ
文部大臣ノ御説明ヲ願フコトニ致シマス

○荒木國務大臣 宗教團體法案提出ノ理由

竝ニ其ノ内容ノ概略ニ付キマシテハ、曩ニ
本會議ノ席上デ申述ベタノデアリマスルガ、
更ニ之ヲ補足致シマシテ御説明致シタイト
存ジマス

宗教團體ニ關スル現行ノ法規ハ、概ネ明
治初年ノ、法制ガ未ダ整ハザル間ニ定メラ
レマシタ太政官ノ布告、布達、或ハ省令、
訓令等、種々雜多ナルモノヨリ成ツテ居ル
ノデアリマシテ、何レモ斷片的デアツテ、
其ノ數ハ三百餘ニ及ンデ居リマス、其ノ適
用上往々ニシテ疑義ヲ生ジ易ク、行政上ノ
不便ハ申スニ及バズ、延イテハ宗教團體ノ
發達ト其ノ教化活動ヲ阻碍スルコト少カラ
ザルモノガアルノデアリマス、隨テ茲ニ宗
教行政ノ根本法規ヲ制定シテ煩雜ナル在來
ノ規定ヲ整ヘ、宗教團體ニ對スル國家ノ保
護監督其ノ適正ヲ得ルト共ニ、他面宗教教
化活動ニ便益多カラシムルハ最モ必要ナル

コトト思考致スノデアリマス

今本案内容ノ主ナルモノヲ申上グレバ、
現ニ神佛敎宗派ニ關スル根本法規トシテハ、
僅ニ明治十七年ノ太政官布達ノ存スルノミ
デアリマシテ、隨テ其ノ法上ノ地位ハ甚
ダ不明確ヲ免レナイノデアリマス、又基督
敎其ノ他ノ敎團ニ於キマシテハ、法規ノ上
ニ何等ノ根據ヲモ有セザル現狀デアリマス
ノデ、本法ヲ以テ是等ニ對シテ法上ニ其ノ
基礎ヲ明ニ致スコトト致シタノデアリマス、
更ニ是等ノ中法人タラントスルモノニ對シ
テハ、新ニ其ノ途ヲ開クコトト致シマシテ、
日常ニ於テ各種ノ法律行為ヲ營ム上ニ於テ
ノ從來ノ甚シキ不便ヲ除去シ、以テ其ノ旺
盛ナル敎化活動ヲ促スノ一助タラシメント
致シタノデアリマス、本法案ノ第三條乃至
第五條ハ即チ此ノ神道敎派、佛敎宗派、基
督敎其ノ他ノ宗教ノ敎團ニ關スル規定デア
リマシテ、敎規、宗制或ハ敎團規則、管長
及ビ敎團統理者等ニ關スル規定ヲ茲ニ包含
致シテ居ルノデアリマス、尙ホ申スマデモ
ナク各敎宗派敎團ニ對シテハ、ソレノ歴
史、沿革、傳統ニ依ル特殊性ヲ尊重致スコト
ニ付テ十分ニ留意シテ居リマス、又其ノ内

部ノ事ニ關シテハ、ソレノ自治ニ委ヌ
ルコトヲ以テ原則ト致シタノデアリマス

更ニ寺院及ビ敎會ニ關シマシテモ、寺院
規則、敎會規則、或ハ住職、敎會主管者等
ニ關スル基礎的法規ヲ制定スルト共ニ、寺
院財產又ハ敎會財產ノ管理ノ公正ト堅實ナ
ル運用ヲ期センガ爲ニ、財產管理及ビ處分
ニ關スル規定ヲ整ヘタノデアリマシテ、法
案ノ第六條乃至第十二條ノ規定ガ此ノ部分
ニ當ツテ居リマス

又宗教團體ニ對スル保護監督ニ遺憾ナキ
ヲ期シマシテ、一方所得稅、地租、登錄稅
等ニ關スル免稅ノ範圍ヲ擴張シ、或ハ土地
建物及ビ重要動產ニ對スル差押禁止ノ規定
ヲ設ケ、又行政上萬一ノ不當處分アル場合
ニ於テハ訴願、行政訴訟ノ途ヲ開イテ其ノ
救済ヲ講ジ、又他方宗教ノ敎義ノ宣布、儀
式ノ執行ガ安寧秩序ヲ妨ゲ、臣民タル義
務ニ背ク場合ニ於ケル監督規定、及ビ敎義
ノ宣布、儀式ノ執行以外ノ行為ガ法令又ハ
宗教團體ノ成規ニ違反シ、或ハ公益ヲ害セ
ル場合ニ於ケル取締規定等ヲ設ケマシテ、
以テ宗教團體ノ健全ナル發達ニ寄與セシメ
ント致シタノデアリマス、本法案ニ於テハ

右申述べマシタ宗教團體保護ノ規定ハ第二十條乃至第二十二條ニ、又監督ノ規定ハ第十六條乃至第十九條ニ互ツテ規定致シテ居ルノデアリマス

新興宗教團體、即チ所謂類似宗教團體ニ關スル規定ト致シマシテハ、法案ノ第二十三條乃至第二十五條ガアリマスガ、此ノ新興宗教團體ニ對シテハ、從來專ラ警察取締ニノミ任セテ參ツタノデアリマスガ、現下ノ思想界ノ實情ニ鑑ミマシテ、是ガ設立ニ當ツテハ届出ヲ爲サシメテ、是ガ監督ニ遺憾ナキヲ期シ、一方其ノ善良ナルモノノ發達ヲ指導致シ得ルヤウニ致シタノデアリマス、併シナガラ申スマデモナク憲法ニ定メテアリマス信教ノ自由ニ付キマシテハ、毫末モ之ヲ冒スコトナキヤウ留意致シテ居ルノデアリマス

尙ホ本法案ハ、本會議ニ於テモ申述べマシタ如ク、其ノ立案ニ當リマシテハ、從來開示セラレアリタル各般ノ意見ヲ參照シ、慎重考究ノ上、其ノ要綱ヲ宗教制度調査會ニ諮リマシテ、全會一致其ノ可決ヲ見、之ニ基キマシテ加除訂正致シ、以テ本法案ヲ得タノデアリマス、幸ニ本法案ガ成立致シマスルナラバ、宗教行政ハ圓滑ニ運営セラレ、又宗教團體ノ刷新振興ニ寄

與シ、特ニ斯ノ如キ時局ニ於テ生ジ易キ淫祠邪教ヲ事前ニ防止スルト共ニ、健全ナル宗教ノ發達ヲ助長スルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、斯クテ現下ノ時局ニ處シマシテ、前途ニ横ハル幾多ノ試練ニ遭遇シテモ、人心ノ動ヲ防ギ、又志氣ヲ振起シ、愈、國ノ總力ヲ擧ゲテ帝國所期ノ目的達成ノ任ヲ盡スニ役立ツコトト存ジマス、此ノ見地ニ立チマシテ、本法案ノ整備ガ一日モ速カナランコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ細目ニ互リマシテハ御質問ニ對シ、私或ハ政府委員ヨリ御答辯申上ゲタイト存ジマス、以上ヲ以テ説明ヲ終リマス

○安藤委員長 本案審議ノ資料ニ付キマシテハ、貴族院ニ配付サレタモノヲ文部省カラ皆様ノ御手許ニ配付サレタヤウデアリマスガ、尙ホ此ノ以外ニ必要ナ資料ガアルナラバ、此ノ際御要求ヲ願ヒタイト思ヒマス

○立川委員 資料ノ要求ヲ致シマス、第一條ニ書イテアリマス神道教派、之ヲ教派別ニシテ信者數、ソレカラ佛教宗派、之モ宗派別ニシテ信者數、基督教モ同様、其ノ他ノ教團モ同様、寺院ト教會ハ信者數ハ調査ガアルカドウカ分リマセヌガ、是ハ寺院ノ數ト教會ノ數、出來レバ其ノ信者數モ御願致シマス

○松尾政府委員 御手許ニ差上ゲデアリマス三教一覽ト云フノ御覽戴ケバ大體アルト思ヒマスガ、若シ足りマセヌヤウデゴザイマシタラ差上ゲタイト存ジマス

○北委員 私ハ政府委員ニ——御迷惑デセウケレドモ、各宗ノ管長並ニ高級役員ノ選舉制度ガ御分リナラバ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○杉山委員 寺院經濟ナリ、或ハ教團ノ經濟ノ調査ガゴザイマシタラ資料トシテ御示シテ願ヒマス

○立川委員 今御話ノ三教一覽ト云フノヲ見マシタガ、三教以外ノ其ノ他ノ宗教ノ教團ハ之ニハゴザイマセヌネ

○松尾政府委員 第一條ニ示シデアリマス「ハ」基督教其ノ他ノ宗教ノ教團「ト」ゴザイマスガ、實ハ基督教ノ教團ト云フノモ現行ノ法制上ニ於キマシテハ無いノデゴザイマス、唯事實上ト致シマシテ、第一條ノ所謂教團ニ該當スル實體ハ二十幾ツカ我國ニハ現存スルノデアリマスガ、右申上ゲマシタ通り法制上ニ於キマシテハ教團ト云フモノヲ認メテ居ラナイノデゴザイマス、本法ニ依リマシテ基督教ヲ初メ其ノ他ノ宗教ノ教團ノ設立ノ途ガ開カレル、斯ウ云フ譯デアリマスノデ、自然先程仰セニナリマシタ點

ニ付キマシテモ、只今ノ所デハ教團ニ付キマシテハ御満足ノ行クヤウナ資料ハ差上ゲ難イカト考ヘテ居リマス

○立川委員 法制上チヤントシタモノデナクテモ、事實上アルモノ、詰リ今後教團ト看做サレルヤウナモノハ分リマセヌカ

○松尾政府委員 出來ル限リ調べマシテ差上ゲヨウト思ヒマスケレドモ、右申上ゲマシタ通り法制上ハツキリシタモノハアリマセヌノデ、自然御満足ノ行クヤウナモノガ差上ゲニクイカト存ジテ居リマスガ、精々研究致シマシテ調査ヲシテ見タイ思ツテ居リマス

○高見委員 資料ニ付テ私カラモ御願シテ置キタイ、結社トナルヤウニ今カラ豫想サレルヤウナモノガ、御手許ニ資料ガアリマシタラ戴キタイ、ソレカラ今、回教教會ト云フモノガアルケレドモ、アノ教會ハ信者ガナイノデアツテ、寧ロ國策ノ見地カラ出來タ教會デアリマスガ、承ル所ニ依ルト「マホメット」教ノ會堂ガ出來テ、其ノ爲ニ「エーメン」ノ王子ガコチラニ來ラレテ、今「ギブシー」ト云フ宗教大臣モ滞在シテ居ルト云フ話デアリマシテ、回教ノ信者ガ日本ニ大分居ルヤニ承ツテ居リマスガ、サウ云フモノガ分ツテ居レバ其ノ員數、及ビ教會堂ガ出來タト云フ話デアリマスガ、果シテサ

ウ云フモノガアルカドウカ、其ノ御調ヲ聽キタイ、ソレカラ支那ノ宗教ノコトニ付テ何カ御調ガアルカドウカ、聞ク如クンバ儒教ハ支那デハ一ツノ宗教ニナツテ居ル、日本デハ全然認メテ居ラナイ、又サウ云フモノハ出來サウニアリマセヌケレドモ、支那デハサウ云フモノヲ宗教トシテ居ルラシイ、最近ニ上海デ宗教ノ各宗各派ガ寄ツテ一ツノ大キナ會ヲ作ツテ、其ノ會ノ總裁ニ近衛公ガナラレタト云フヤウナコトガ新聞ニ出テ居リマシタ、東京ノ新聞ニハ餘リ見マセヌケレドモ、地方ノ新聞ニハ大變ソレガ書イテアリマス、サウ云フヤウナ點カラ見マシテモ、實際サウ云フヤウナコトガ事實アルカドウカ、又支那ノ宗教ト日本ノ宗教トノ間ノ色々ノ連絡、聯合ト云フヤウナコトニ付テ、何カ御調ベニナツテ居ルモノガアツタナラバ一ツ出シテ貰ヒタイ

ソレカラ此ノ間大臣ヨリモ御親切ナル御答辯ガゴザイマシタガ、大本教、ヒトノミチト云フヤウナモノハ、現ニ今司直ノ手ニ渡ツテ居ルノデアリマシテ、ドウ云フヤウナ状態ニナツテ居ルカ分リマセスガ、私ハ一昨年デアリマシタカ、當局ニ其ノ情勢ヲ聽キ、信者ノ色々ノ話モ調ベテ居ツタノデアリマスガ、元ノ宗教ヘ段々信者モ戻ツテ

居ルヤウニ承ツテ居リマス、斯ウ云フコト

ハ所謂生活ノ安定ニモ劣ラザル程ノ、精神上ノ安定ノ大切ナ問題デアルト思ヒマス、此ノ前文部省デ大本教ノ信者ノ數ヲ聽キマシタガ、其ノ時ノ調ベデハ、色々青年會トカ婦人會トカ云フヤウナ會合ガ附帶シテ居リ、ソレガ又本部、支部ト云フヤウナ工合ニ團體組織ニナツテ居ツタノデアリマス、其ノ後サウ云フモノハドウ云フ情勢ニナツテ居ルカ、又ソレ等ノ信仰關係ハドウナツテ居ルカ、大本教ノ問題ガ起ツタ時ニ丁度私ハ京都ニ居リマシテ、知恩院ノ幹部ノ人ト偶然一緒ニナツテ、綾部ガヤラレタト云フノ綾部ヲ觀察致シマシタガ、其ノ時ニアノ本殿ノ内ニ非常ニ澤山アツタ先祖代々ノ靈ト云フモノガ皆焼カレテシマツタ、私ハ大體ガ罰セラレルトカ罰セラレストカ云フコトヲ問題ニシテハ居リマセスガ、アノ先祖代々ノ靈ガ焼カレテ、アレガ其後ドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトヲ、私ハ自分ノ先祖ノ靈ヲ祀ル時ニ何時モ考ルノデスガ、斯ウ云フヤウナコトモ御調ベテ願ツテ、資料ガ何カアツタナラバ御出シテ願ヒタイ、今ノ所ソレダケデアリマス

○林委員 神官、僧侶、教師ノ數ハ分ツテ居リマスガ、其ノ家族ハドノ位アルデセウ

カ、家族モ凡ソ御分リカト思ヒマス、生活

ノ根據ヲソコニ置ク譯デスカラ、サウ云フ方面モ知リタイト思ヒマシテ御願致シマス、ソレカラ佛堂ノ數ハ御示シノ資料ノ中ニアルノデ分ツテ居リマスガ、其ノ種類ヲ知リタイト思ヒマス、例ヘバ稻荷サンガ幾ラアルトカ、或ハ水天宮サンガ幾ラアルト云フコトガ知リタイ、佛堂ノ種類ハ可ナリ澤山アルダラウト思ヒマスガ、ドウ云フモノガアルカト云フコトヲハツキリシタイ、ソレカラソレレノ歸依者、參詣人ト云フヤウナモノノ極ク大體ノ數、一年ニ何万人參詣者ガアルカ歸依者ガアルト云フトコハ、是ハ國民大衆ガ一ツノ精神的ナ支配ヲ受ケテ居ル所デアリマスカラ、其ノ動キト云フモノヲ知ツテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、サウ云フ數ハ是非共必要ナ材料デスカラ、細カイ御調査ガアルト思ヒマスケレドモ、大體デモ宜シウゴザイマスカラ、御願シテ置キマス

○安藤委員長 林君、アナタノ御要求ハ神社ノ參拜者ノ數ノコトデスカ

○林委員 歸依者ト參詣者ノ數デゴザイマス

○松尾政府委員 只今林サンノ仰セニナル御註文ハ非常ニ難カシイノデ、逆モ私共ノ

力デハ御答ガシ兼ネルカト思フノデアリマ

ス、成程宗教教師ノ數ハ分リマス、所ガソレガドノ位家族ヲ持つテ居ルカト云フコトハ、何分三十万ニ近イ宗教教師ノ數デアリマスノデ、ソレヲ今カラ家族ノ人口調査ヲヤラウト云ツテモ、私共ノ力デハサウ急速ニ出來ルモノデハナイト思フノデアリマス、ソレカラ佛堂ノ種類デゴザイマスガ、只今仰セニナリマス宗ト云フノハ、本法案第三十一條ニ出テ參ル宗デアラウト思ヒマスガ、其ノ宗ダトスルト僅ニ十九デアリマスカラ分リ易イノデアリマスガ、本法案第三十五條ニ示シテアル佛堂ニナリマス、全國ニ三万五千ノ多キニ達シマスノデ、其ノ種類別ヲスルトハ是亦非常ナ難事デ、一年ヤ二年ノ期間ヲ頂戴シナイト研究ガ出來ナイカト思ヒマス、隨テ又第三ノ御要求モ大變難カシクテ、オ寺ハ七万一千、佛堂ハ三万五千、教會ハ二万五千モアラウカト存ジマス、是等ノ參詣人ノ數ガドノ位アルカト云フコトニ付キマシテハ、一寸判明致サヌノデアリマス、オ寺ニハ無關係デモ拜シテ歸ル者モアリマセウシ、信徒數ダケハ御手許ニ舉ゲマシタ調査ノ如ク分ツテ居ルノデアリマスガ、何處ノオ寺ガドノ位繁昌スルノカ、ドノ位參詣シテ居ルノカ、私ノ方

デハ一寸分り兼ネルノデアリマス、三ツトモ大變難カシイ問題ナノデ、直チニ御答ヲ致シ兼ネルノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ノ上、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス。

○北委員 恐ラク宗教局長サンノ仰シヤル通りニ、林君ノ要求ノ資料ハ一寸出來兼ネルト思ヒマスケレドモ、是ダケハ知リタイト思ヒマス、林君ノ資料ニ關係シテ居リマスガ、私ハ數年前ニ淺草ノ觀音様ニ行キマシタラ、アスコノ方丈サンガ、私ノ所ガ一番オ賽錢ガ多クテ一年ニ二十萬圓、二番ハ京都ノ伏見稻荷、三番ハ多分成田山、四番目ハ明治神宮ダト云フ御話デス、所ガ巢鴨ノトゲヌキ地藏ガ出來テカラ、オ賽錢ガ第一位ニナツテ、三十萬圓以上アルト云フコトデアル、私ハ驚イタ、林君ノ資料要求ニ關聯シテ、神社ハ除イテ、セメテ參詣人ノ多イ寺ダケ十グラキ御知ラセテ願ヒタイ、是ハ直グ分ルト思ヒマス、サウスルトソレニ依ツテ民衆ノ信仰ノ傾向ハ分ルト思ヒマス

○加藤委員 寺院又ハ教會ヲ維持スル爲ニ財團組織ガ相當出來テ居ルヤウニ考ヘマスガ、ソレノ御調査ニ關スル資料ヲ戴キタイ、ソレカラ此處ニハ命令案ノ大綱ト宗教團體法案第十八條ノ施行命令案ノ大綱、此ノ

二ツガ出テ居リマスガ、勅令案ニ關スル大綱ガアリマシタナラバソレヲ一ツ戴キタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○松尾政府委員 命令案ノ大綱ト致シテ置キマシタノデ、中ニハ勅令モ入ツテ居リマスシ、省令モ入ツテ居リマス、ソレハ全部未定稿デアリマスケレドモ、差當リ考ヘテ居リマス點ダケハ、命令案ノ大綱ノ中ニ一冊ニ纏メテ置キマシタノデ、御手許ニ參ツテ居ラウト存ジマス

○加藤委員 私ハ只今材料ヲ頂戴シマシタノデ、内容ヲ見ナイデ要求致シマシケレドモ、命令案ノ大綱ノ中ニアリマスレバソレデ結構デアリマスガ、更ニ御願シタイノハ神道、佛教、基督教等ノ各宗、各派、各教會等ニ互リマシテ教師ノ資格ニ關スル材料ガ欲シイノデアリマス、先般來色々伺ツテ居リマス、教師ノ資格ハ其ノ宗、其ノ派、其ノ教會等ニ任シテヤラセルト云フ御趣意ノヤウニ伺ツテ居リマスガ、併シ之ヲ御許シニナルニハ、相當文部省ニ於キマシテモ内規ト云フヤウナモノガアルダラウト思フノデアリマス、ソレニ關スル材料モ御提出ヲ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ要求ヲ申上ゲテ置キマス

○世耕委員 只今北君カラ材料ノ要求ガア

ツタヤウデアリマスガ、ソレニ附加ヘテ、オ賽錢ノ高以外ニ御守札トカ或ハ御祈禱札トカ云フモノガ、或ハ場所ニ依ツテハオ賽錢以上ノ高ニナルヤウニ聞イテ居リマスガ、若シ此ノ御調査ガ出來ルモノデアリマシタラ御調査ノ上御提出ヲ願ヒマス

○杉山委員 私ハ宗教關係ノ犯罪ニ關スル資料、例ヘバヒトノミチハドウデアツタトカ、色々宗教關係デ禁止ニナツテ居ルヤウナ犯罪モ多少アラウカト思フノデアリマス、若シサウ云フモノガゴザイマシタナラバ宗派、或ハソレニ關シタ人員數、サウ云フヤウナ御調ガアツタラ戴キタイト思ヒマス

○加藤委員 只今杉山君ノ御要求ニナリマシタ材料ハ極メテ大切ナモノト思フノデアリマス、私ソレニ附加ヘマシテ、宗教ヲ信ジタ者ノ犯罪數ト信ジナイ者ノ犯罪數、サウ云フヤウナ調査ハ非常ニ必要ダト思フ、サウ云フ御調査ガアツタナラバ其ノ材料ヲ御提出願ヒタイガ、若シナケレバソレニ向ツテ御調査ヲ希望スル譯デアリマス、兎ニ角サウ云フヤウナ材料ヲ一ツ私モ御願シテ置キマス

○松尾政府委員 今加藤サンノ仰セニナツタ信者ノ信仰ト犯罪トノ關係ニ付キマシテハ、學者モ非常ニ調査ヲ致シテ居ルノデゴ

ザイマスケレドモ、學者ノ研究モマダ十分ニ行ツテナイヤウデゴザイマスシ、私共トシテハ直グ差上ゲマス御即答致シ兼ネルノデアリマス、此ノ點御諒承願ヒタイト思ヒマス、唯宗教關係ノ犯罪關係、杉山サンノ仰セニナリマシタノハ、是モ私共ノ方デハマダナイノデゴザイマスケレドモ、出來ル限リ一兩日中ニ調べマシテ、纏マルダケハ纏メテ差上ゲタイト思ヒマス

○立川委員 今加藤君ノ要求ノ資料ハ司法省ニハ無論アル筈デス、司法省ハ審理ノ時ニソレヲ調査シマスシ、又在監者ニ就テ調べテ居ルノデスカラ、無論アル筈デスカラ、是ハ一ツ委員長カラ司法省ヘ御通知下サツテ、ソチカラ御取寄下サルヤウニ願ヒタイ、或ハ文部省ガサウ云フ御交渉下サツテモ結構デゴザイマスガ、是ハアルト思ヒマス

○松尾政府委員 ソレハ御注意デゴザイマスカラ、司法省ニ尋ネテ見マシテ、ゴザイマシタナラバ御取次致シマス

○世耕委員 只今ノ犯罪内容ノ區別デアリマスガ、若シコチラノ要求通りナカツタヤウナ場合ガアリマシタラ、僧侶ニシテ特ニ思想的ニ檢舉サレテ處斷サレタ者ノ區別ハハッキリシテ居ル筈デアリマスカラ、ソレ

ダケデモ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス

○安藤委員長　モウ材料ノ要求ハ宜シウゴザイマスカ——ソレデハ只今各委員カラ要求サレマシタ材料ニ付キマシテハ、當局ノ方カラ成ベク至急ニ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○曾和委員　私議事進行ニ關シテ委員長ニ尋ネタイト思ヒマス、本法案ハ洵ニ重大ナ法案デアアル、内容ニ於キマシテモ、性質ニ於キマシテモ、洵ニ特殊のナモノデアツテ、是ノ質疑ニ關シマシテハ大問題ト小問題トガ甚ダ複雑混淆サレル虞ガアル、殊ニ根本問題ニナリマスト形而上の意見モ出マセウシ、小ナル實際問題ニナルト法條ノ一箇條一箇條ノ問題モ出ルドラウト思ヒマス、就キマシテハ政府ニ對シマシテ質疑致シマスコトモ、大體ニ於テ根本論ト申シマスカ、ソレニ對スル質疑、次ニ法案ノ中ノ例ヘバ教派、宗教、教團ニ關スル質問例ヘバ第三條乃至第六條ニ關スル質問、次ニハ第七條以下第十二條ノ寺院、教會ニ關スル質問ヲスル、更ニ最後ニハ逐條的ニ質疑ヲスルト云フ風ナ順序デ議事ヲ進メテ戴キタイト云フ希望ヲ私ハ持ツテ居リマス、之ニ對シテ委員長ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○安藤委員長　只今曾和君カラノ御話デス

ガ、今日ハ大體此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、能ク皆サンニ其ノ材料等ヲ御調ベヲ願ツテ、更ニ次會ヲ開ク時マデニ大體順序ヲ決メタイト思ヒマス、ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、次會ノ開會ハ何レ公報ヲ以テ御通知スルコトニ致シマス、是ニテ散會致シマス

午前十一時五分散會

昭和十四年二月二十七日印刷

昭和十四年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局